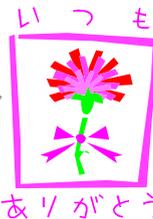


つながろう！絆・連合



特集号

発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

～震災から3年～

3.11 東日本大震災から丸3年が経過しました。連合は、この大災害を「忘れず、風化させず、教訓をいかす」との思いをあらたに、全国の仲間力をあわせ、これからも“絆”を大切にしていきたいとの決意を込めて、次のとおり神津事務局長の談話を発信しました。

未曾有の被害をもたらした3.11 東日本大震災から3年がたちました。あらためて、犠牲になられた多くの方々に対し、心から哀悼の意を表します。私たちは、この大災害を忘れない、決して風化させない、そして犠牲になられた多くの方々を遺された教えと気づきを胸に、もう一步、さらに前へ踏み出していきたいと思っています。

今も、26万7千人の方が避難生活を強いられています。いまだに仮設住宅での生活を余儀なくされている人、故郷に帰る目途も立たない人、思う仕事に就けず生活基盤が揺らいでいる人、心のケアが必要な人、根強い風評被害に苦しむ人など、多くの人々が深刻な問題を抱えています。

3年の月日を経てもなお、現地からは切実な声が寄せられています。復興まちづくり事業の遅れ、人材・建設資材の不足、産業復興の遅れ、雇用のミスマッチ、自治体の職員不足、医師・看護師不足、除染対策の遅れ、風評被害、人口流出など、多くの課題が山積しているとの訴えが届いています。特に心の問題は深刻であり、被災した3県の子どもの3割に心的外傷後ストレス障害の症状がみられるとの厚生労働省調査班報告も出されています。

連合はこうした状況の早期解決に向け、政府に対して復興・再生の加速化を図るよう要請していきます。さらにこの一年が正念場であるとの思いで様々な課題に取り組むとともに、新たに二つの取り組みを行います。「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」と「いのちを守る絆フォーラム」です。将来を担う子どもたちに楽しんでもらいたい、心の絆を実感してもらいたい。さらに命を守ることの大切さを全国の仲間に伝えていくことが、この取り組みの目的です。

本日は、犠牲になられた皆様のご冥福をあらためてお祈りするとともに、今もなお必死に踏ん張っている被災者の方々へ思いを寄せ、もう一度、私たち一人ひとりに何ができるのかを考え、絆をより強いものとしていくことを誓い合いたいと思います。

連合福島が表彰されました！



3月5日、連合福島が、福島県社会福祉協議会から、東日本大震災により甚大な被害を受けた被災者の方々に対して、惜しみない支援を行ってきたことに対して、感謝状を受けました。（写真左：連合福島・影山会長）

さらに、会津地協においても、同協議会より除雪ボランティアをはじめ、継続した活動に対して感謝状を頂きました。（写真右：会津地協の遠藤事務局長）



連合に集う多くの仲間の汗が、地元の皆さまの心に染みえています。これからも力をあわせて“やるぞっ連合！”

いのちを守る絆フォーラム 開催迫る！

ぜひ、ふるって
ご参加ください！

大震災を風化させず、犠牲になられた多くの方々が残してくれた教訓を生かすとともに、地震、台風、集中豪雨、竜巻などの自然災害に対して事前に備え、組合員をはじめ地域住民を災害から守ることをめざして、フォーラムを開催します。

ぜひ多くの方にご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

日時：2014年3月27日(木)16:20～18:40
場所：東京YWCAホール（連合会館より徒歩5分）

★プログラム★

- 16:20～16:30 主催者あいさつ
- 16:30～17:00 被災地の現状と課題
「福島の子どもは可哀想・・・なんて言って欲しくない！」
自治労南相馬市職員労組 大石万里子さん
- 17:00～18:20 講演「想定外を生き抜く力～釜石の防災教育に学ぶ～」
群馬大学 片田敏孝教授
- 18:20～18:30 東北の子ども応援わんぱくプロジェクト立ち上げに向けて
～神津事務局長とやくみつる氏の開始宣言～

以上

同日、連合そば「ワテラス」にて東北物産展を開催します！

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp